

科目名称：	ホテル事業論	
担当者名：	小滝 勝秀	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
都市型ホテルの事業としての宿泊、料飲（宴会・食堂）、調理、管理の仕事内容と各セクションの関連性を通し、ホテルの全体像を理解することを目的とします。その上で、現在のホテルが抱える諸問題と競合他社との関係を把握します。その上でグループワーク・プレゼンテーションなどを通してホテルで行われるオペレーションを理解します。		
授業の達成目標・到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・都市型ホテルの全体像の理解 ・都市型ホテルのセクション間のコミュニケーションの必要性の理解 		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP (2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	○
DP (3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP (1)					0
ビジネスDP (2)			100		100
ビジネスDP (3)					0
ビジネスDP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 ホテル経験 (レストラン・フロント宴会・婚礼・マーケティング)	《経験年数1》 3年6ヶ月
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 都市型ホテルの組織と商品	シラバスを精読しておく。	30分
第2回 ホテル内の職種と役割	都市型ホテルの組織と商品を復習しておく。	30分
第3回 宿泊部門業務Ⅰ	ホテル内の職種と役割を復習しておく。	30分
第4回 宿泊部門業務Ⅱ	宿泊部門業務Ⅰを復習しておく。	30分
第5回 宴会部門業務Ⅰ	宿泊部門業務Ⅱを復習しておく。	30分
第6回 宴会部門業務Ⅱ	宴会部門業務Ⅰを復習しておく。	30分
第7回 婚礼部門業務	宴会部門業務Ⅱを復習しておく。	30分
第8回 食堂部門の業務	婚礼部門業務を復習しておく。	30分
第9回 調理部門の業務	食堂部門の業務を復習しておく。	30分
第10回 管理部門の業務	調理部門の業務を復習しておく。	30分
第11回 販売促進部門	管理部門の業務を復習しておく。	30分
第12回 顧客の囲い込み	販売促進部門を復習しておく。	30分
第13回 リスクマネジメント	顧客の囲い込みを復習しておく。	30分
第14回 他部門との繋がり	リスクマネジメントを復習しておく。	30分
第15回 競合他社との関係と授業のまとめ（各グループごとにディスカッションを行う）	他部門との繋がりを復習しておく。	30分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
レポートにて評価する(100%)

課題に対するフィードバック

講義中にレポート作成を行い、学生の理解度を確認し必要に応じてフィードバックを行う(4回)

教科書・参考書

教科書は指定しない。授業の都度レジュメを配布する。参考文献はその都度指示する。